

別記様式1

主専攻プログラム詳述書

開設学部(学科)名〔医学部(保健学科) 看護学専攻〕

プログラムの名称(和文)	看護学プログラム
(英文)	Program of Nursing
1. 取得できる学位	
学士(看護学)	
2. 概要	
本プログラムは、幅広く	深い教養を基盤に、豊かな人間性と高い倫理観を養い、専門職となるための基礎
的知識と技能及び態度を修	得し、課題発見・解決力と協働力を備えた、社会の人々に信頼される看護実践者
を育てることを目指してい	る。さらに科学的思考力と創造力に富む、将来の看護学の発展に寄与できる看護
学研究者を育成することを	目指している。
3. ディプロマ・ポリシー	- (学位授与の方針・プログラムの到達目標)
○本プログラムは, 次の到	達目標の達成を目指している。
1) 看護の基盤となる人間	間・健康・環境・看護実践理論を理解し、必要な知識を習得する。
2)援助的関係を形成する	るために必要な能力を習得する。
3)看護実践において科学	学的に判断し、計画的に実施する能力を習得する。
4) 看護実践において生命	rや人の尊厳を重視し,人権を擁護する倫理的判断能力を習得する。
5)看護職者として、特定	定の健康課題に対応する実践能力を習得する。
6)他職種と連携・協働し	、保健医療福祉組織における看護職者としての役割を果たす実践基礎能力を習得
する。	
7) 看護学の発展に寄与す	する専門職者として研鑽し続ける基本能力を習得する。
4. カリキュラム・ポリシ	~- (教育課程編成・実施の方針)
本プログラムでは, プログラ	ラムが掲げる到達目標を学生に実現させるために、次の方針のもとに教育課程を編成し、
実践する。	
第1ステップ:1年次で、「豊か	いな人間性と幅広い教養,専門科目を支える教養科目」「人間の心身の機能に関する専
門基礎科目」「看護実践の基	礎となる専門科目」を履修し、複眼的な視野で広範な教養を育むとともに、健康と看護に
ついて深く探求するための基	礎的知識を習得する。
第2ステップ:2年次に,「疾病	病の予防,発症,治癒に関する専門基礎および専門科目」「健康と環境に関する専門科
目」「看護基礎技術に関する	専門科目」「ヘルスケアシステムに関する専門科目」の科目群を中心に学習を進め、看護
学に関する専門知識を深める	5.
第3ステップ:3年次前期に,	「個人と家族,地域の健康問題と看護に関する専門科目」を履修し,看護実践者に必要
な基礎的能力を育成する。	
第4ステップ:3年次後期と4年	年次前期で,「看護実践上の判断能力を習得するための臨地実習」を履修し,看護実践
者に必要な基礎的能力を育け	成する。また,4年次後期では,「医療安全と看護倫理」「看護教育学概説」「卒業研究」を

通して,より包括的に看護学を考究し,問題の発見と解決に向けた探求の基本姿勢を育成する。

卒業時には、看護実践と看護研究に必要な5つの総合的能力(生命・看護倫理に対する判断力、コミュニケーション

能力,解析・分析能力,ディスカッション能力,チームの一員として協働する能力と態度)を備え,広く社会に貢献できる人材を育成する。

5. 開始時期·受入条件

1年次より開始。

6. 取得可能な資格

看護師国家試験受験資格 副専攻科目(保健師コース)を選択した場合,保健師国家試験受験資格 副専攻科目(助産学コース)を選択した場合,助産師国家試験受験資格 副専攻科目(養護教諭コース)を選択した場合,養護教諭一種免許状

7.授業科目及び授業内容
※授業科目は、別紙1の履修表を参照すること。(履修表を添付する。)
※授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。

8. 学習の成果

各学期末に、学習の成果の評価項目ごとに、評価基準を示し、達成水準を明示する。

各評価項目に対応した科目の成績評価をS=4, A=3, B=2, C=1と数値に変換した上で,加重値を加味し算出 した評価基準値に基づき,入学してからその学期までの学習の成果を「極めて優秀(Excellent)」,「優秀(Very Good)」,「良好(Good)」の3段階で示す。

成績評価	数値変換		
S (秀:90点以上)	4	学習の成果	評価基準値
A (優:80~89点)	3	極めて優秀(Excellent)	3.00~4.00
B(良:70~79点)	2	優秀(Very Good)	2.00~2.99
C (可:60~69点)	1	良好(Good)	1.00~1.99

※別紙2の評価項目と評価基準との関係を参照すること。 ※別紙3の評価項目と授業科目との関係を参照すること。 ※別紙4のカリキュラムマップを参照すること。

9. 卒業論文(卒業研究)(位置づけ,配属方法,時期等)

- 位置付け:看護に関して追求しようとする課題を明確にし,仮説もしくは独自の構想をデータや資料 によって実証または記述する過程を踏むことを通して,科学的探求の基本的なプロセス を理解し,論文作成の基本的技術を習得する。
 - 配属方法:学生が,自ら目指す研究テーマを考え,自ら指導教員を選ぶ。

指導教員には,看護学専攻教員があたる。なお,他専攻(作業療法学,理学療法学)教員を 指導教員として選択することも可能である。

時 期 等:4年次

10. 責任体制

PDCA責任体制(計画(plan)・実施(do)・評価(check)・改善(action))

看護学専攻会議、保健学科会議、医学部教授会においてその構成員により実施している。

医学部保健学科看護学専攻

別表第1

教養教育科目履修基準表

	<u>- 11 N</u>		科有護 ⁻	- 							J	履 修	5 年	次	(注1)		
区分		科	目目	玄 分	要修得 単位数	授業科目等	単位数	履修	区分	1 년	戶次	2 生	手次	3 生	F 次	4年	F 次
					- 12.94					前	後	前	後	前	後	前	後
	教養	教養も	Ĩ		2	教養ゼミ	2	必	修	0							
	Э	平	和	科 目	2		2	選択	必修			0					
	ア 科 目	パッ	ケー	ジ別科目	6	選択したパッケージから	各2	選択	必修	0	0						
				コミュニ ケーション		コミュニケーション基礎 I	1	N	1.45-	0							
				メンション基礎	2	コミュニケーション基礎 II	1	必	修		0						
				コミュニ ケーション	2	コミュニケーション I A	1	必	修	0							
		外		I	2	コミュニケーション IB	1	9£1	ß	0							
			英語 (注2)	コミュニ ケーション	2	コミュニケーションⅡA	1	必	修		0						
教	共	国	(土乙)	I	2	コミュニケーション II B	1	ж <u>ъ</u>	19		0						
		語				コミュニケーションⅢA	1					0	0				
養	通	科		コミュニ ケーション	2	コミュニケーション Ⅲ B	1	選択	必修			0	0				
教		目		Ш	2	コミュニケーションⅢC	1					0	0				
育	科					上記3科目のうちから2科目											
科	目			語,フランス	(0)	ベーシック外国語 I から 2 科目	1	自由	242十口	0							
目			語,中国 言語選択	語のうちから1)	(0)	ベーシック外国語Ⅱから2科目	1	нш.	进八		0						
		Jac +	비 수	日(注))	2	情報活用基礎	2	122.40	以按	0							
		情幸	収 个十	目(注3)		情報活用演習	2	選択	化修		0						
		領	域	科 目	(0)	すべての領域から	1又は2	自由	選択	0	0						
		健康	スポ	ーツ科目	(0)		1又は2	自由	選択	0	0						
					2	医療従事者のための心理学	2	必	修		0						
					2	統計学	2	選択	以修		0						
		基	盤利	斗 目		数学基礎概論	2	125173	2019	0							
					0	初修物理学	2	(注	5)	0							
					0	初修生物学	2	(注	5)	0							
	必負	修・ 遅	· 展択 必	修科目小計	24												
計	自	由選	と 択 呑	斗目 小 計	16	(注6)											
	封	教養	教育科	4 目 合 計	40												

注1:○印は標準履修セメスターを表している。なお、当該セメスターで単位を修得できなかった場合はこれ以降に履修することも可能で ある。授業科目により開設期が異なる場合があるので、学生便覧の教養教育開設授業科目一覧で確認すること。

注2: 短期語学留学等による「英語圏フィールドリサーチ」又は自学自習による「オンライン英語演習A」及び「オンライン英語演習B」: 各1単位(同一科目を重複して単位を修得することは不可)の履修により修得した単位を、卒業に必要な英語の単位(8単位)に代え ることが可能である。また、外国語技能検定試験、語学研修による単位認定制度もある。詳細は、学生便覧に掲載の教養教育の英語 注3: 1年次前期開設の「情報活用基礎」を履修すること。なお、「情報活用基礎」の単位を修得出来なかった場合のみ、後期開設の「情報 活用演習」を履修することができる。

注4: 「医療従事者のための心理学」の単位を修得できなかった場合のみ、「心理学A」又は「心理学B」の履修により修得した単位を、卒業に必要な単位(2単位)に算入することが可能である。

注5: 「初修物理学」,「初修生物学」,の単位を修得すべき者は,保健学科において指定する。ただし,卒業要件単位には含まない。

注6:自由選択科目は、初修外国語、領域科目,健康スポーツ科目,基盤科目の中から合計16単位以上を修得すること。なお、領域科目で は、人文科学領域の「倫理学」並びに社会科学領域の科目を修得することが望ましい。ただし、6単位を超えて修得したパッケージ別 科目については、4単位までを自由選択科目に含めることができる。

(注) 養護教諭一種免許状を取得しようとする者は、領域科目の「日本国憲法」2単位、及び健康スポーツ科目の「健康スポーツ科学」、 「スポーツ実習A」又は「スポーツ実習B」のうちから2単位を修得すること。

別表第2

専門教育科目履修基準表

利利	保健学科看護学専攻 科┃						履修	年 次			
		単位数	履修指定	14	手 次	2年	- Rg IE 三次		F次	4年	三次
· 区 分	<u>a</u>			前	後	前	後	前	後	前	後
	人間発達学	2	必修	2							
	人体構造学 I	1	必修		1						
	人体構造学Ⅱ	1	必修			1					
	生理機能学 I	1	必修		1						
	生理機能学Ⅱ	1	必修			1					
嗼		2	必修			2					
門	9 基礎医学演習	2	必修				2				
<u></u> 基礎		2	必修			2					
版	病理学	2	必修			2					
E		2	必修			2					
	臨床生化学	2	選択			2					
	臨床病態学	2	選択			2					
	保健英語	1	選択			1					
	Introduction to Epidemiology and Population Sciences	2	選択				2				
	Global Health and Current Public Health Issues	2	選択					2			
	成人健康障害看護	2	必修			2					
	老年健康障害看護	2	必修		1		2	1	t	1	
	小児健康障害看護	2	必修		1	1	2	1	t	1	
	周産期健康障害看護	2	必修			1	2		1		1
	精神健康障害看護	2	必修			1		2	1		1
	健康管理論	2	必修			(2)			1	1	1
	疫学	2	必修				1	2		1	
	社会福祉学	2	必修			†	2		1	1	
	看護実践学原論	2	必修	2							
	看護技術学・基礎演習	2	必修	2		2					
	看護技術学・応用演習	2	必修			<i>w</i>	2				
	看護診断方法論演習	1	必修								
		2					Û			2	
	看護管理学概論		<u> 必修</u>				(1)			2	
	医療安全と看護倫理	1	业修 21 修				Û				6
	国際健康看護論	1	必修								(]
	基礎看護実習I	1	必修	1							
	基礎看護実習Ⅱ	1	必修			1					
	基礎看護実習Ⅲ	2	必修				2				
	総合実習	2	必修							2	
	看護教育学概説	1	選択								1
	がん看護学	1	選択						1		
	家族看護学	1	選択						1		
-	カウンセリング演習	1	選択					1			
専		2	必修			2					
P	成人看護方法演習・慢性期	1	必修					1)			
1.	成八 但 喪刀 伝 供 白 * 芯 住 刑	2	必修					2			
形		2	必修			2					
	老年看護方法演習	1	必修					1			
E	小児看護学概論	2	必修			2					
	小児看護方法演習	1	必修					1			
	母性看護学概論	2	必修		2	-				-	
	母性看護方法演習	1	必修				1				
	精神看護学概論	2	必修				2				
	精神看護方法演習	1	必修					1			
	地域看護学概論	2	必修				2				
	地域看護学 I	2	必修					2			
	地域看護学Ⅱ	2	必修						2		
	地域看護学演習	1	必修							1	L
	地域看護実習	2	必修							2	
	成人看護学実習(急性期)	2	必修						2		
	成人看護学実習(慢性期)	2	必修							2	
	成人看護学実習(回復期・緩和ケア)	2	必修			1	1		2	1	
	老年看護学実習	2	必修		İ	1	1		2	l	
	小児看護学実習	3	必修		1	1	1		3	1	1
	母性看護学実習	2	必修			1			2		1
	精神看護学実習	2	必修			1			2	1	1
	卒業研究	4	必修	L						(.	4)
	保健情報学演習	1	選択			†	1	1	1		Ī
	保健政策論	2	選択			1	1		2	1	
	環境生態学演習	1	選択			<u> </u>	1		4	 	

医学部保健学科看護学専攻

	科							履修	年 次			
区分	目区	授業科目	単位数	履修指定		三次	2年			三次		≌次
75	分				前	後	前	後	前	後	前	後
		公衆衛生看護学 I	2	選択					2			
		公衆衛生看護学Ⅱ	2	選択					2			
		公衆衛生看護管理	2	選択								2
		公衆衛生看護実習	3	選択							3	
		助産学概論	2	選択					2			
		母子看護論	2	選択					2			
		助産診断学	4	選択						4		
	専門	助産技術学	2	選択							2	
専	門科	助産疾病論	2	選択							2	
7門教育	17	助産方法論	2	選択							2	
教		地域母子保健	1	選択							1	
育		助産管理学	2	選択							2	
		助産学実習	11	選択								11
		学校保健概論	1	選択			1					
		学校保健演習	2	選択						2		
	朝	月基礎科目 開設単位数 必修:16単位	選択	:9単位	要履修単	位数 必	修:16単	位				
	朝	9科目 開設単位数 必修:78単位	選択	:48単位	要履修	单位数 🚽	必修:78≧	単位				
		専門教育科目計	94									
		卒業要件単位数	134									

注1: 実習科目の履修は、所定の授業科目の単位を取得していない場合、許可されないことがある。

注3:助産師国家試験を受けようとする者は、専門基礎科目及び専門科目に掲げる必修科目のほか、次の選択科目を全て履修しなければならない。助産学 概論,助産診断学,母子看護論,助産技術学,助産疾病論,助産方法論,地域母子保健,助産管理学,助産学実習。
注4:養護教諭の免許状を取得しようとする者は,課程10「養護教諭免許取得に必要な履修科目(保健学科看護学専攻)」を参照のこと。

保健師国家試験受験資格取得に必要な履修科目(保健学科看護学専攻)

X	科							履修	年 次			
	目区	授業科目	単位数	履修指定	1年	戶次	2年	≌次	3年	三次	4年	迩
分	分				前	後	前	後	前	後	前	後
		保健情報学演習	1	選択					1			
		保健政策論	2	選択						2		
専	専	環境生態学演習	1	選択				1				
門教	門利	公衆衛生看護学 I	2	選択					2			
育	目	公衆衛生看護学Ⅱ	2	選択					2			
		公衆衛生看護管理	2	選択								2
		公衆衛生看護実習	3	選択							3	

注 保健学科看護学専攻学生で,保健師国家試験受験資格を取得しようとする者は,教育課程に掲げた履修基準(教養教育科目,専門教育科目)の必修 科目を含めて,上記科目を必ず履修しなければならない。

助産師国家試験受験資格取得に必要な履修科目(保健学科看護学専攻)

X	科							履修	年 次			
分	日区	授業科目	単位数	履修指定	1年	F次	2年	5次	3年	三次	4年	淡
75	分				前	後	前	後	前	後	前	後
		助産学概論	2	選択					2			
		母子看護論	2	選択					2			
		助産診断学	4	選択						4		
専	専	助産技術学	2	選択							2	
下教		助産疾病論	2	選択							2	
育	E	助産方法論	2	選択							2	
		地域母子保健	1	選択							1	
		助産管理学	2	選択							2	
		助産学実習	11	選択								11

注 保健学科看護学専攻学生で,助産師国家試験受験資格を取得しようとする者は,教育課程に掲げた履修基準(教養教育科目,専門教育科目)の必修 科目を含めて,上記科目を必ず履修しなければならない。

養護教諭一種免許取得に必要な履修科目(保健学科看護学専攻)

	科目区分	授業科目	単位数	必要 単位数	履修セメスター	開講キャンパス
	外国語科目(英語)	コミュニケーション II A	1	1	2セメ	
教養	外国品科白(英品)	コミュニケーションⅡB	1	1	267	東広島
教育	情報科目	情報活用基礎 (又は情報活用演習)	2	2	1セメ (2セメ)	
科目	領域科目	日本国憲法	2	2	1又は2セメ	東広島又は東千田(後期)
	健康スポーツ 科 目		2	2	1又は2セメ	東広島
		教職入門	2	2		奇数年は霞,偶数年は東千田
		教育の思想と原理	2	2		奇数年は霞,偶数年は東千田
		児童·青年期発達論	2	2		奇数年は東千田, 偶数年は霞
		教育と社会・制度	2	2		奇数年は東千田, 偶数年は霞
		教育課程論	2	2		奇数年は東千田, 偶数年は霞
	教職に関する	教育方法·技術論	2	2	3・4又は5・6セメ	奇数年は霞,偶数年は東千田
専	専門科目	道徳教育指導法	2	2		奇数年に霞で開講
門		特別活動指導法	2	2		偶数年に東千田で開講
教育		生徒·進路指導論	2	2		奇数年は霞,偶数年は東千田
科		教育相談	2	2		奇数年は東千田, 偶数年は霞
目		養護実習	5	5	7・8セメ	広島大学の附属学校で実習
		教職実践演習(注)	2	2	8セメ	霞(医学部)で開講
	声明甘7 株利日	臨床薬理学	2	2	3セメ	霞(医学部)で開講
	専門基礎科目	微生物学·免疫学	2	2	3セメ	霞(医学部)で開講
		公衆衛生看護学Ⅱ	2	2	5セメ	霞(医学部)で開講
	専門科目	学校保健概論	1	1	3セメ	霞(医学部)で開講
		学校保健演習	2	2	6セメ	霞(医学部)で開講

1. 保健学科看護学専攻学生で,養護教諭一種免許単位を取得しようとする者は,教育課程に掲げた履修基準(教養教育科目,専門教育科目)の必修科目を含めて,上記科目を必ず履修しなければならない。

2.「教職に関する科目」については、 霞キャンパスでは医学部保健学科生用の昼間集中講義で開講し、 東千田キャンパス では法学部及び経済学部夜間主コース生用の夜間集中講義で開講する。

(注)教職実践演習(養護教諭)(8セメスター集中授業)を履修するためには、7セメスターに養護実習の履修手続を済ませ、 教職実践演習の開始までに養護実習の単位を修得又は修得見込みであること。 7セメスター終了時点で養護実習の単位が修得できておらず、8セメスターで教職実践演習と並行して養護実習を履修す ることとなった場合、教職実践演習の単位は、養護実習の単位が認定されることを条件として認定する。

ログラムにおける学習の成果	コンボケナ 塗し の目の
	12世二 0
看護プ	ビー ー / ビー

価項目と評価基準との関係	学習の成果	評価項目	
評伯			

			and the state of the	
	学習の成果	-	計価基準	
	評価項目	極めて優秀(Excellent)	優秀(Very Good)	良好(Good)
	(1) 一般教養に関する知識・理解	各科目の到達目標に基づいて行う試験において、他の項目と関 進付けて応用的な説明ができる。	各科目の到達目標に基づいて行う試験において,他の項目と関 進付けて説明ができる。	各科目の到達目標に基づいて行う試験において、基本的な説明 ができる。
	 (2) 心身の機能と環境に基づく健康,疾病の予防,発症,治癒 (2) に関する知識,理解 			
知識・	(3) 看護実践理論,看護の基本的技術と態度に関する知識・理			
理解	(4) 個人と家族, 地域の健康問題と看護に関する知識,理解	看護学教育プログラムの到達目標に基づいて行う各科目の試験 において、他の項目と関連づけて応用的な説明ができる。	看護学教育プログラムの到達目標に基づいて行う各科目の試験 において、他の項目と関連づけて説明ができる。	看護学教育プログラムの到達目標に基づいて行う各科目の試験 において、基本的な説明ができる。
	(5) ヘルスケアシステムと看護職者間ならび他職種との協働に 関する知識・理解			
	(6) 看護倫理に関する知識・理解			
	(1) 根拠に基づいた看護実践を計画する能力	①演習において、エビデンスに基づいた看護方法を対象の個別 性を考慮して計画に応用できる。 ②演習において、基礎的知識を予習した上で、積極的かつ狭水	①演習において,エビデンスに基づいた標準的な看護方法を計画できる。 ②演習において,積極的態度で臨み,学んだことを原理原則に	①演習において、標準的な看護方法を計画することができる。 ②演習において、積準的な看護方法を計画することができる。 ■ ★ へい不屈胆+エ×・レスカメニ
	(2) 対象の健康課題を根拠に基づいて査定する能力	的廠度で臨み、半びや深めへ展開するにとができる。 ③フポート存成におこれは、事象や客観的に評価・悲感し、お の行今後の課題にしてわぬ発見けに評価・悲感し、お	基づいて応用することができる。 ③レポート作成においては、事象を客観的に評価・考察するに とができる。	あっていた時からしいがいです。 ③レポート作成においては、事象を客職的に記述することができる。
能力・技能	(3) 根拠に基づき計画した看護を適切に実践する能力	①臨床・臨地において必要な看護実践技能を、自立して、安全からご確果でおって、一切していたできる。 かして用者の特性やニーンができる。 ②利用者の特性やニーズを総合的に捉え、個別的な看護過程を 展開することができる。 ③利用者に対する意識実践を評価し、評価結果を別の利用者に対して活かすことができる。	① 臨床・臨地において必要な看護実践技能を、看護職者の助 回のもとに、完全かしこにがでることができる。 ③利用者の特比やニーズを読合的に起え、標準的な看護を計 面のうち一部は個別社を考慮して実施することができる。 ③利用者に対する看護実設を利用者の反応を踏まえて振り返 ることができる。	①臨床・臨地において必要な看護実践技能を、看護職者の補助のもとに、安全かつ正確に実行することができる。 のもとに、安全かつ正確に実行することができる。 の用者の特性とニーズを分析し、標準的な看護を計画することができる。 とができる。 ③自分の実践を客観的に振り返ることができる。
	対象の健康課題に応じた健康の保持増進、疾病や事故・傷 きの予防, 健康の回復にかかわる看護を実践する能力 (4) *利用者: 看護実践の場における看護サービスの利用者。 患者, 相談者, 地域住民など包含する。	①利用者に関する看護過程ではエビデンスに基づいた看護方法 を、計画に応用できる。 金、計画に応用できる。 ②基本的な原理原則をふまみた上で、利用者の施別性を考慮し ①素製ひきる。また、第に採水的能度で臨み、実践後には客観 前評価し、計画の追加修正を行うことができる。 ③審護職者に助言を求め、ディスカッションすることができる。 5。	①利用者に関連したエビデンスに基づいた標準的な看護方法を 該明できる。 基本的な原理原則をふまえ、利用者の個別性に配慮して実践 できる。 ③香護職者に助言を求めることができる。	①利用者に関連した標準的な看護方法を説明できる。 ②基本的な原理原則に基づいて実践できる。 ③着腹脈者に自分が計画した内容を伝えることができる。
貔	(1) 生命・看護倫理に対する判断力	①問題や課題に気づき,適切な対処行動がとれる。	①問題や課題について、分析することができる。	問題や課題にしいて気んくことができる。課題の分析過程を知り、課題の所在を知る方法を知っている。
合的な	(2) チームの一員として他者・多職種と連携し協働する能力と態度	各職種の役割を理解した上で、利用者のニーズ充足に必要な職 種を考え、適切に働きかけることができる。	各職種の役割を理解した上で、適切に働きかけることができる。 る。	チームの一員であることを認識して行動することができる。
Ł	(3)研究成果の実践への活用力および自己研鑽力	自分の現状を的確に把握し、専門職者として成長するための課 題に取り組むことができる。	自ら学ぶ姿勢を有し、向上心をもって行動できる。	問題に気づき,解決するための手段を考え,実践できる。

主事攻プログラムにおける教養教育の位置づけ

本プログラムにおける教養教育は、専門教育を受けるための学問的基盤作りの役割を担い、自主的・自立的態度の尊重、情報収集力・分析力・批判力を基礎にした科学的思考力の養成、ものごとの本質と背景を広い視野から 洞察することのできる視座の確立、国際人として生きるにふさわしい語学力と平和に関する関心を強化し、幅広い知識を真に問題解決に役立つ知識体系へと統合するとともに、既成の枠を超えた学際的・総合的研究を開拓し推進

Mutuality Mutuality <t< th=""><th></th><th>(料目名 1000000000000000000000000000000000000</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>8</th><th></th><th>田蔵・田</th><th>10</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>EL CONTROL MICHIE</th><th></th></t<>		(料目名 1000000000000000000000000000000000000						8		田蔵・田	10															EL CONTROL MICHIE	
Matrix <p< th=""><th></th><th>日から進生</th><th></th><th></th><th>1</th><th>(1) </th><th>49-7 第2 第2 第2 第2 第2 第 第 2 第 2 第 2 第 2 第 2 第</th><th>0488.54 215.248.8 0.940.42 0.940.42 0.940.43 0.950</th><th>(3) 登場1道 前,登場(1) 約2技術と 約2技術と (1)前十25(</th><th>原用 の指令 始成 と構 の 語</th><th>人已和我。 20世紀11日 日本:四十 日本:四十</th><th>地 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14</th><th>(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)</th><th>(0) 十乙加酸-20</th><th>開催した</th><th>(1) に基づき、 社に基づき、 社会計画的 (2014年6年 の始重点と理</th><th>12 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13</th><th>第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十</th><th> (1) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (5) (4) (5) (6) (6) (7) /ul></th><th>1000日 1000日 100000000</th><th>4) 06.代始情 約0.0万 参の.06.従 たっち 実業 たっち 実業</th><th>10 生命・登録 に対する年</th><th>総合 前用 テーノ 前所 して能</th><th>的な力 の一局と 第十百般 188.月</th><th>(3) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1</th><th>31.L 10.75</th><th></th></p<>		日から進生			1	(1) 	49-7 第2 第2 第2 第2 第2 第 第 2 第 2 第 2 第 2 第 2 第	0488.54 215.248.8 0.940.42 0.940.42 0.940.43 0.950	(3) 登場1道 前,登場(1) 約2技術と 約2技術と (1)前十25(原用 の指令 始成 と構 の 語	人已和我。 20世紀11日 日本:四十 日本:四十	地 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	(0) 十乙加酸-20	開催した	(1) に基づき、 社に基づき、 社会計画的 (2014年6年 の始重点と理	12 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13	第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	 (1) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (5) (4) (5) (6) (6) (7) /ul>	1000日 100000000	4) 06.代始情 約0.0万 参の.06.従 たっち 実業 たっち 実業	10 生命・登録 に対する年	総合 前用 テーノ 前所 して能	的な力 の一局と 第十百般 188.月	(3) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	31.L 10.75	
Meth. Image Meth. Meth. <th< th=""><th></th><th>日から現今</th><th></th><th></th><th>1220</th><th>日中の 評価 会社日 日本会</th><th></th><th>10.00 H</th><th>日 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)</th><th></th><th></th><th></th><th>時価項目のの</th><th>+ # 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5</th><th>114 114 114 114 114</th><th>時間が</th><th>中国時 中国時 中国時</th><th>10日 10日 10日 10日 10日 10日 10日 10日 10日 10日</th><th></th><th></th><th>19 16 19 11 10 10 11 10 10</th><th></th><th></th><th>1988 Col-D</th><th>+114 +114 +110 +110 +110 +110 +110 +110</th><th>10.00 (10.00 (10.00)</th><th></th></th<>		日から現今			1220	日中の 評価 会社日 日本会		10.00 H	日 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)				時価項目のの	+ # 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	114 114 114 114 114	時間が	中国時 中国時 中国時	10日			19 16 19 11 10 10 11 10 10			1988 Col-D	+114 +114 +110 +110 +110 +110 +110 +110	10.00 (10.00 (10.00)	
Without Normation		日の心理学	9	8	1454	100																					
Tentonition: 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		日の心理学	2 285 54.2 265	12	3424 ×	01 01			t	+	+	+		╈				+	+				-		T	+	
Network Network <t< td=""><td></td><td>ーン科目 者のための心理学</td><td>\$1 ¢</td><td>40 I.X</td><td>2012 tt X</td><td>100</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>$\left \right$</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>		ーン科目 者のための心理学	\$1 ¢	40 I.X	2012 tt X	100					$\left \right $																
Image: Matrix and the state of the		-ツ科日 書のための心理学	50 50	1 8021	-2424	100			1	+													_				
Methoddlyweit a <		-ツ科日 書のための心理学 	0	X1 1X	ca2t ×	10	_	_	1	+	+	-		+	-	_		1	+	_			-			+	
Merandim 1 num 1 <		and a second secon		1 19	24c4	81 81			T	+	+			+									-				
International Internat		世間	+	100	147	100			t	t	\vdash			t				t							I	\vdash	
Image: interpretation			5 We	800	2 tex	100																					
Motoreries		日日	m 91	100	2012-tr.X	100	-		1	+	+	-		+	+			1	+				+			+	
Control I </td <td></td> <td></td> <td>94 9 04 -</td> <td></td> <td>1 tt.k</td> <td>+</td> <td>50</td> <td></td> <td>8</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>+</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td>+</td> <td></td>			94 9 04 -		1 tt.k	+	50		8		1			+									-			+	
The stand st				2 42	3tex	+	001		t	+	+			\dagger				t									
The stand of		1.5	-	8	245	t	100		t	t	\vdash			t				t							I	\vdash	
Interprotention Interprotentinterprotentinterprotention <thinterprotention< th=""></thinterprotention<>		2 日本	1 6	- 62	3424		100	1																			
Matrix matrix I <		免疫学	•	8	3 to 4	+	100		1	+	+	-		+	-	_		1	+	_			-			+	
Construction Construction<	教育科目 基礎医学?	演習	а I	8 1	etc.	+	901		8	-		3		00									_				
Image Image <th< td=""><td></td><td>二年或同元</td><td></td><td></td><td>910A</td><td>+</td><td>001</td><td>-</td><td>8</td><td>-</td><td>+</td><td><u>Ş</u></td><td>-</td><td>00</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></th<>		二年或同元			910A	+	001	-	8	-	+	<u>Ş</u>	-	00				1									
Mathematication 1					3tex		001	-															-				
Contribution D <thd< th=""> D <thd< th=""> D</thd<></thd<>		54	~		3454	F	100	-	t	t	$\left \right $			t					+							$\left \right $	
9.9.9.9.9.9.9.9.9.9.9.9.9.9.9.9.9.9.9.		等害犯援	2	4	34.4		20	-	3)	1 2	1 00	20		20													
Control free Contro free </td <td></td> <td>等害者護</td> <td>50 64</td> <td>8</td> <td>4104</td> <td></td> <td>20</td> <td></td> <td>30</td> <td>1 2</td> <td>1 00</td> <td>20</td> <td></td> <td>20</td> <td></td>		等害者護	50 64	8	4104		20		30	1 2	1 00	20		20													
Methodingerie I 0		等害者護	9 01	8	410X		20	-	30	- 3	1 00	20		20	_								-				
Mathematical I </td <td></td> <td>新解害 看護</td> <td>94 04</td> <td>8</td> <td>440X</td> <td></td> <td>20</td> <td></td> <td>8</td> <td>-1</td> <td>-</td> <td>20</td> <td>-1</td> <td>20</td> <td>_</td> <td></td>		新解害 看護	94 04	8	440X		20		8	-1	-	20	-1	20	_												
Metrology 1	常神健康	等害者護	9 01		6 tex	+	20		30		1 0	20		20		+		+	+	4		+	+		T	╈	
Mathematical I </td <td>数百姓日 加速株置 4日 Websta</td> <td></td> <td>9 1 N 0</td> <td></td> <td>34EK</td> <td></td> <td>20</td> <td></td> <td>8</td> <td>-</td> <td></td> <td>52</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>_</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>+</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	数百姓日 加速株置 4日 Websta		9 1 N 0		34EK		20		8	-		52	-	2	_				+				-				
Matrix Matrix<	With R 子 With 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		9 9 N 0	0 W	23.0		00		w	-	1 0	46	-	4					+				-				
Operationality (a) I	数官科目 香湯家飯2	r 9:0036	e 00		1454	+	20		8	1	1 0	20		20				t					-			-	
Mathematication I	教育科目 看護技術:	学·基础演習		*	3 tex		\vdash				$\left \right $				30		50										
Methologies 1 <th< td=""><td>教育科目 看護技術</td><td>学·応用演習</td><td></td><td>8</td><td>4104</td><td>+</td><td>-</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>50</td><td></td><td>50</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>T</td><td></td><td></td></th<>	教育科目 看護技術	学·応用演習		8	4104	+	-								50		50								T		
Mathemanine 1 <th1< th=""> 1 <th1< td=""><td>教育科目 看護診断:</td><td>方法論演習</td><td>1</td><td></td><td>etc.</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>╞</td><td>-</td><td></td><td></td><td></td><td>50</td><td></td><td>50</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></th1<></th1<>	教育科目 看護診断:	方法論演習	1		etc.					╞	-				50		50										
The control of the contro of the contro of the control of the control of the control of th	教育科目 看護管理	外抵論	~		74×				(ŀ			40		20	_												
Matterier I	教育科目 国際機械	作機論 4-10-	-		8 tr./		20		8	-	1 0	20		20	-		1		+				_			+	
Mathematical and and anothematical and anothematical and anothematical and anothematical an	NATED 25-10 TEXE OF 12	ж.т. #39.п	4 4	8 8	1.0.4	+	+	1	T	+	+			1	200		00		+			T	-		T	+	
IIII 0003000000000000000000000000000000	改作科日 挑战滑稽?	東晋田	~	-	44.4	╞	$\left \right $		ſ	\uparrow	\vdash		Ĺ	t				F	50 1	8	1				T	┢	
Inderforme Indefforme Indeffo	教育科目 総合実習		~	*	7-6-5					╞	-											30	1 50		20		
Off (MPC)(MPC) I Or O	改宜科目 母性滑護(外機論	0	90 200	24:X		20		30	1 2	1 00	20	1	20	_												
Mathematical 1 and	改作科目 母性滑護	方法演習	~	÷	4454	+	+	ſ		+	+	_			20		50		+				-				
No. with the sector 1 No.	2 1	千 头背 6	9 9 N 9	e 3	×2.9	+	40		1	-		44		44	-			T	1 00	8	1	T			T	+	
Image interfaction 1 mode 1	品店		R 98	14	6 tex	+	20		a a			20		20				1									
Image No. No. </td <td>助</td> <td>1</td> <td>- R -</td> <td>- ž</td> <td>64×</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>50</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>T</td> <td></td> <td></td>	助	1	- R -	- ž	64×						-				50		50								T		
Image (e.g.) Image		- ite	.00	1 T	74.5	\vdash	\vdash	L	t	┢	╞	\vdash		F	50		50								F	-	
Mathemany 1 Norm <	튶	4	NR 04	差	74.8		20		30	1 2	1 0.	20		20													
Methode I Methode I Methode I Methode I Methode I Methode I Methode Methode </td <td></td> <td></td> <td>9R 00</td> <td>14</td> <td>74×</td> <td></td> <td></td> <td>\square</td> <td></td> <td>H</td> <td>$\left \right$</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>50</td> <td></td> <td>50</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>			9R 00	14	74×			\square		H	$\left \right $				50		50	1									
Markender 1 amb 700 100		系態	-	34	7-tr.×		20	-	30	- 3	1 00	20		20	_								-				
Matrix Matrix 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 1 <th1< th=""> <th1< t<="" td=""><td></td><td>34 I</td><td>~</td><td>žě.</td><td>74×</td><td>+</td><td>-</td><td></td><td>(6</td><td></td><td>-</td><td>40</td><td></td><td>20</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>+</td><td>_</td><td></td><td></td><td>_</td><td></td><td></td><td>+</td><td></td></th1<></th1<>		34 I	~	žě.	74×	+	-		(6		-	40		20				1	+	_			_			+	
CAL MIN CONTRATION 1 ord 1 1 0 1 1 0 1	教育科目 助旅学类言	14 miles	11	34	84×											_			20	6	1		-				
N. M.	教育科目 成人看護?	字供論 	94	÷.	3424	+	20		8		1	20		20	-		-		+				+			+	
C.A. (BP/S) (MP-GHM) I	数11件目 成人指改。	の はrefe 首・1要114.94	+	8	o'EX	+	+	1	t	+	+	_		+	ő	-	90		+			T			T	+	
CA. MIGL - SURGE (C. M. C. C. A. MIC - SURGE (C. M. M. C. C. A. MIC - SURGE (C. M. M. C. C. A. MIC - SURGE (C. M. M. C. C. A. MIC - SURGE (C. M. M. C. C. A. MIC - SURGE (C. M. M. C. C. A. MIC - SURGE (C. M. M. C. C. A. MIC - SURGE (C. M. M. C. C. A. MIC - SURGE (C. M. M. C. C. A. MIC - SURGE (C. M. M. C. C. A. MIC - SURGE (C. M. M. C. C. A. MIC - SURGE (C. M. M. C. C. A. MIC - SURGE (C. M. M. C. C. A. MIC - SURGE (C. M.	教育科目 成人看護:	方法演習·急性期		÷	6 ft x										30		50										
Alter Set (M. H., Rein, C., Alter Set (M. H., Rein, C))))))))))))))))))))))))))))))))))))	教育科目 成人看護?	学実習(急性期)	-9	*	6tcX							_							1 09	8		_					
Open Section Control and the section of the section Control and the section of the secti	教育科目 成人看護?	学美智 (慢性期)	~	ج	74×										-				50 1	8	1		-				
中間で、 日本 1 1 1 <th1< th=""> 1 <th1< th=""> <th1< th=""></th1<></th1<></th1<>		回後	0	90 200	642X										-				50 1	8	1						
APP. (1996.19) 1 00 10.0 BPP. (1997.19) 1 00 10.0 BPP. (1		学概論	~	æ	34X		20		30	1 2	1 0	20		20	_												
日目を使用である 日目を 日目を 日目を 日目を 日目を 日目を 日目を 日目を 日目を 日目 日日 <		方法演習	-	炭	545X				1	1					50		50		+								
IMP HOME STATE I COL COL IMP HOME STATES I COL COL IMP HOME STATES I COL COL IMP ADDRESS STATES I COL COL COL IMP ADDRESS STATES I COL COL COL COL IMP ADDRESS STATES I I COL		学美習	94 10	₩.	0 tc/														1 05	8	1		_				
Impediation Impediation <thimpediation< th=""> <thimpediation< th=""></thimpediation<></thimpediation<>		学概論	94	쐿	4104		20		30	1	1 01	20	1	20	_												
Mick Generation 1 cm cm Mick Generation 1 cm cm Mick Generation 1 cm cm Mick Generation 1 cm cm cm Mick Generation 1 cm cm cm cm Mick Generation 1 cm cm cm cm cm Mick Generation 1 cm cm <td></td> <td>万弦演習</td> <td></td> <td></td> <td>640X</td> <td>+</td> <td>+</td> <td></td> <td>1</td> <td>+</td> <td>+</td> <td>-</td> <td></td> <td>t</td> <td>35</td> <td></td> <td>50</td> <td>-</td> <td></td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td>+</td> <td></td> <td></td> <td>+</td> <td></td>		万弦演習			640X	+	+		1	+	+	-		t	35		50	-		4			+			+	
MARREFILMA 1 1 1 MARREFILMA 1 1 1 1 MARREFILMA 1 1 1 1 1 MARREFILMA 1 1 1 1 1 1 MARREFILMA 1<		子类省		8 :	010	+	-	-	1			1						T	20	8		T			T	+	
Mark Refer 7. 1 0 <	With II PUW相談。	产铁桶	8 ·		Xa.	+	20	-	3	-	1	20		82					+			+	-			+	
HARKAPT 1 1 1 1 HARKAPT 1 1 1 1 1 HARKAPT 1 1 1 1 1 1 HARKAPT 1 1 1 1 1 1 1 HARKAPT 1 <t< td=""><td></td><td>7.1 ** =</td><td>94 I</td><td>8</td><td>ortex</td><td>+</td><td>20</td><td>-</td><td>8</td><td></td><td></td><td>50</td><td>-</td><td>8</td><td></td><td></td><td></td><td>T</td><td>+</td><td></td><td></td><td>T</td><td></td><td></td><td>T</td><td>+</td><td></td></t<>		7.1 ** =	94 I	8	ortex	+	20	-	8			50	-	8				T	+			T			T	+	
Micro Relation 1 0 11 Micro Relation 1 0 11 11 Micro Relation 1 0 11 11 11 Micro Relation 1 0 11 11 11 11 Micro Relation 1 0 11 <	教育科目 地域指護:	Pr. II	01 ·		6 tex	+	20		3		-	20		20	-		1		+				-				
How Rev APT 1 200 200 How Rev APT 1 200		手顶省 並取	~ .	8 1	7.5.8	+	+	1	1	+	+	_		+	ň		30			4		T			T	+	
ドレート ドレー ドレート ド ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		天宮	9 y	8 3	×2.7	+	44		w	-	-	44		44				T	1 00	6	-		+		T	+	
Control Display Display <t< td=""><td></td><td>T UN II</td><td></td><td>6 8</td><td>240</td><td>+</td><td>00</td><td></td><td><i>a</i> 8</td><td></td><td></td><td>00</td><td></td><td>00</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>		T UN II		6 8	240	+	00		<i>a</i> 8			00		00													
発発化を通信する 発発化を通信する 2.分析化を通信する 2.分析化を通信する 2.分析化を通信する 2.分析化を通信する 2.分析化を通信する 2.分析化を通信する 2.分析化を通信する 2.分析ののの 2. 分析のの		en secto		1	247	+	07		6			07		0.7													
		F.R.W.		¥ 1	ATC .	+	100 UC		62		0.0	00		07		4	1	1	+	_		1	+		T	+	
		11.或乎 I 約.44/M II	R 7	14	1000	+	20		Q 40		1 0	20		20				t					+		T	+	
		11 102 /r 11 15 106 201 201	R 1	1	0.00	+	02		<i>(c)</i>		2 4	02		0.2		+		t	t	+		t	+		t	t	
		日本は 200	. R	30	2 FX	t	1	-		+	_	1		and	+	+	I	T	1 01	8		T	╞		T	+	
		2014 E 100	~		342	t	20	-	30	1	1 0.	20	-	20			L	t	-	1		t	+		t	┢	
		方法德智	~	1	0 tex	┢	4	Ļ	T	t	+	1	t	t	30		50		┢	-		t	+		t	┢	
		23 1251w III 04 dr30g		1 3	0 mil	+	+	Ļ	t	+	+	∔	t	t	+	4	-	-	1 00	8	-	T	╞		t	t	

別紙3

0,
\mathcal{V}
$\hat{\mathcal{S}}$
P
\triangleleft
\mathbb{N}
Н
+
\Box
R
\triangleleft
\mathbb{N}
Ŕ
П
ĥ
護
Ť
1.17

		1 T	Ċ	H H		2 年	14	
	前期	+	2 間標	+ %	# #	0+0	+++	徐 詌
	用1.701 世界出版 (101)	1.4.74	Left Infl	1.人情生」 2.(①)			LAL III	「人が」
U M	宿護美践学 原論(◎)	甘性有護字戰論(◎)	へ体構這字Ⅱ(@)	村沢備仕字(◎)	投子(0)	地吸有護字Ⅱ(©)	有護官理字慨論(回)	国際健康有護論(0)
TIM. 1	人間発達学(◎)	人体構造学Ⅰ(◎)	生理機能学Ⅱ(◎)	医療安全と看護倫理(◎)	精神健康障害看護(◎)	保健政策論(△)	助産技術学(△)	公衆衛生看護管理(△)
~	教養ゼミ(@)	生理機能学 I (@)	病理学(@)	地域看護学概論(③)	地域看護学 I (③)	助産診断学(△)	助産疾病論(△)	
	ペッケージ別科目(〇)	(○)目核陥(○)	微生物学·免疫学(③)	精神看護学概論(③)	公衆衛生看護学 1(△)		助産方法論(△)	
看護実践理論, 看護の基本的 対 術と能度に関する知識・理解 ³⁵	コミュニケーション 基礎 I (◎)	コミュニケーション 据礎 II (③)	臨床薬理学(③)	老年健康障害看護(③)	公衆衛生看護学Ⅱ(△)		地域母子保健(△)	
	コミュニケーション I A(©)	$\exists \exists \exists \exists f \vdash \forall \exists \mathcal{N}(\bigcirc)$	栄養学(@)	小児健康障害看護(③)	助産学概論(△)		助産管理学(△)	
п	コミュニケーション I B(◎)	コミュニケーション IB(③)	健康管理論(③)	周産期健康障害看護(③)	母子看護論(△)			
個人と家族、地域の健康問題と	情報注用非確(○)		☆人健康陪害看護(◎)	コミュニケーションⅢ A(∩)				
看護に関する知識・理解								
識	级子基礎機論(○)	旕計字(○)	成人有護字城論(回)	コミュニケーション皿B(0)				
ヘルスケアシステムと看護職者	平和科目(〇)	自由選択科目	老年看護学概論(③)	コミュニケーションIIC(O)				
埋 間ならび他職種との協働に関す 自	自由選択科目	医療従事者のための心理学(③)	小児看護学概論(③)					
			コミュニケーションⅢA(○)					
			コミュニケーションⅢR(○)					
			コミュニケーション皿C(0)					
			平和科目(O)					
看護倫理に関する知識・理解								
_	基礎看護実習1(◎)		看護技術学·基礎演習(@)	看護技術学·応用演習(③)	小児看護方法演習(③)		地域看護学演習(◎)	
*** 根拠に基づき、看護を計画的に			<u>非</u> 跳毛辦(◎)	● # 参 # 十 社 检 资 33 (◎)	(◎)四度子井井井井(◎)			
			逛陂倡谡天自Ⅲ◎)	「自要認例がな需(()」)	相性相談の伝承自心			
調				母性看護方法演習(③)	老年看護方法演習(③)			
				基礎医学演習(③)	成人看護方法演習•慢性期(◎)			
技健康の回復にかかわる実践能				環境生態学演習(△)	成人看護方法演習·急性期(③)			
					保健情報学演習(△)			
				其牒看護生翌III(@))		母性希識必重翌(@)	成人看護学重翌(場性期)(◎)	助確堂重翌(∧)
実 根拠に基づき, 看護を計画的に						1.114.推动在田(①)	····································	
						小九年段十天百(④)	地域倡暖天自(④)	
						精神看護学実習(②)	公衆衛生看護実習(△)	
カ(健康の保持増進、 狭海の予防、 ・ 健康の回復にかかわる実践能						老年看護学実習(③)		
						成人看護学実習(急性期)(③)		
〒 *利用者:看護実践の場におけ ── ス看羅井──ビスの利田老 串						成人看護学実習(回復期·緩和ケア)(@)		
							総合実習(@)	
… 生命・看護倫理に対する判断力							卒業研究(@)	卒業研究(©)
物								
							総合実習(@)	
* チームの-員として協働する能 * カン能度								
技							総合実習(③)	
一般の一般である。								
(例)教養科目	養科目	専門基礎	専門科目	専門科目(公衆衛生・助産)卒業論文	卒業論文	(◎) 必修科目	(O)選択必修科目	(△)選択科目

別紙4

看護プログラム担当教員リスト

教員名	職名	内線番号	研究室	メールアドレス
小林 敏生	教授	5345	健康開発科学	tkobaya@hiroshima-u.ac.jp
梯 正之	教授	5350	健康情報学	kakehashi@hiroshima-u.ac.jp
折山 早苗	教授	5355	基礎看護開発学	
大平 光子	教授	5360	助産·母性看護開発学	moohira@hiroshima-u.ac.jp
森山 美知子	教授	5365	成人看護開発学	morimich@ hiroshima-u.ac.jp
祖父江 育子	教授	5370	小児看護開発学	sobue@hiroshima-u.ac.jp
國生 拓子	教授	5375	精神保健看護開発学	kokusho@ hiroshima-u.ac.jp
片岡 健	教授	5380	成人健康学	katachan@ hiroshima-u.ac.jp
中谷 久恵	教授	5390	地域·在宅看護開発学	hinakata@hirosima-u.ac.jp
川崎裕美	教授	5395	地域·学校看護開発学	khiromi@ hiroshima-u.ac.jp
宮下 美香	教授	5385	老年・がん看護開発学	mikamiya@ hiroshima-u.ac.jp
藤井 宝恵	講師	5346	基礎看護開発学	tomie@ hiroshima-u.ac.jp
大垳 美樹	講師	5458	地域·在宅看護開発学	ooeki@hiroshima-u.ac.jp
藤本 紗央里	講師	5361	助産·母性看護開発学	fsaori@hiroshima-u.ac.jp
小澤 未緒	講師	5432	助産·母性看護開発学	ozawamio@hiroshima-u.ac.jp
二井谷 真由美	講師	5366	成人看護開発学	mniitani@hiroshima-u.ac.jp
竹中 和子	講師	5378	小児看護開発学	takewank@ hiroshima-u.ac.jp
梶原 弘平	助教	<u>5445</u>	老年・がん看護開発学	kkaji <u>@hiroshima-u.ac.jp</u>
舩場 友木	助教	5352	助産·母性看護開発学	funaba@hiroshima-u.ac.jp
田淵 啓二	助教	5356	健康開発科学	tabk2@hiroshima-u.ac.jp
新宮 美穂	助教	5347	基礎看護開発学	mshinguu@hiroshima-u.ac.jp
村上 真理	助教	5352	健康情報学	muromari@hiroshima-u.ac.jp
山崎 智子	助教	5397	地域·学校看護開発学	morisato@hiroshima-u.ac.jp
渡邊 多恵	助教	5382	成人健康学	watanabetae@hiroshima-u.ac.jp
金藤 亜希子	助教	5397	地域·在宅看護開発学	teccy@hiroshima-u.ac.jp
福島 紗世	特任助教	5352	助産·母性看護開発学	sfuku@hiroshima-u.ac.jp
栗栖 京子	特任助教	5347	地域·在宅看護開発学	kukuriku@hirosima-u.ac.jp

※「082-424-(内線番号4桁)とすれば、直通電話となります。

(霞:082-257-(内線番号4桁))

(東千田:082-542-(内線番号4桁))